

国際協力事業団「シニア海外ボランティア」で、養蜂ボランティア募集

開発途上国において、ボランティア精神をもってその国の開発に協力したいという意志のある方を援助するために、1990年に国際協力事業団により「シニア協力専門家」として開始され、1996年に「シニア海外ボランティア」と名称が変更された。この事業は国内にいる幅広い技術・豊富な経験を有する中高年を対象にしており、募集年齢は40歳から69歳、希望者はま

ず登録を済ませ、年2回送付される派遣要請のリストにもとづいて応募する。書類・専門技術審査、面接、語学試験などの結果により派遣者が決定される。派遣期間は1年ないし2年。

平成8年度はウルグアイから生産改善と品質向上のための養蜂の生産診断と、ジョルダンから養蜂技術の普及に係わる助言・指導、疾病の診断・治療・予防に関する要請がある。

詳細は国際協力事業団青年海外協力隊事務局シニア海外ボランティア事業係。

Tel. 03-3355-6445, Fax. 03-3355-6866.

玉川大学ミツバチ科学研究施設から

小野正人講師、第23回環境賞受賞

小野正人講師が「日本在来種マルハナバチの実用化に関する研究」で環境賞を受賞し、1996年6月7日に経団連会館で表彰式が行われた。

昆虫関係の研究での受賞は初めてのことであるという。

「サライ」誌にハチミツの特集

1996年7月18日発行の小学館「サライ」誌に、「養蜂園直送の味 自慢のはちみつ」と題し、ハチミツを取り上げた特集が掲載された。当施設も取材に協力、一部紹介された。

ミツバチ、ハチミツに関する放映

1996年5月11日、フジテレビの「晴れたらイイね!!」で「蜂蜜採り」と題した番組に吉田忠晴助教授と農学部昆虫学研究室4年の市川直子さんが出演した。

1996年6月6日、日本テレビの午後の番組「おもいきりテレビ」に松香光夫教授が生出演した。クイズ方式でハチミツやローヤルゼリーについて分かりやすく解説した。

1996年6月15日、テレビ朝日の「紺野美沙子の科学館」で「神秘! ニホンミツバチ」が放

映された。番組には、吉田忠晴、佐々木正己、小野正人の研究施設スタッフが出演。ニホンミツバチの生態について、それぞれ解説した。

「ポリネーターの利用」、 「マルハナバチの世界」出版

松香光夫著「ポリネーターの利用」が、(株)サイエンスハウスから昆虫利用科学シリーズ7として出版された。送料込みで1,800円でおわけできる(17巻2号、図書紹介に掲載)。

小野正人・和田哲夫著「マルハナバチの世界—その生物学的基礎と応用—」が(社)日本植物防疫協会から出版された。送料込みで2,500円でおわけできる。

ご希望の方はミツバチ科学研究施設まで。

編集後記

東京農工大学の佐藤俊幸博士には、多回交尾した女王蜂の受精囊中の精子がよく混ざった状態であることを解説いただいた。ゼリア新薬工業の池田氏ほかの薬理研究部から、ストレスに対する興味深いローヤルゼリーの効果について寄稿を受けることができた。新聞に大きく取り上げられた刺さないミツバチの研究を、畜試の天野和宏博士に紹介いただいた。松岡氏のコートジボアールでの協力活動を掲載できた。(忠)